



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 10 月 1 日(土) 黒松剪定講習会
平成 23 年 10 月 16～17 日(土・日) 合同剪定会

国道7号豊祥岱交差点～能代港湾入口交差点までの約1.5km、152本の黒松の剪定・管理は、ボランティア団体「能代バイパス黒松友の会」が行っています。今年も黒松の秋の剪定が終わりました。

10月1日(土)、剪定会に先がけ開催した講習会は、会員と一般の方あわせ40名の方々の参加があり、秋の剪定方法「もみあげ」について講習を受けました。もみあげとは人間の顔についているものではなく、冬の間下の枝にも日光が当たりやすいよう、古い葉を手でもみ取る作業のことです。

実技講習は、会員の皆さんの要望で、数年前から講習に使う松の本数を増やし、受講者が少人数に分かれ、1人1人が実際に剪定を实践できる方法で行っています。

この講習をふまえ行われた10月16・17日の剪定会は、雨の天気予報が残念ながら的中してしまい、初日は大ぶりの雨となりました。行事は中止としたものの、参加した数名の会員は安全のため脚立を使わず、手が届く範囲で作業しました。2日目は、強風が吹く曇りの天気で、作業に適した環境ではありませんでしたが、いつも以上に注意をはらい、無事作業を終えることができました。

のしろ白神NWがオーナーの松は、「まち灯り・夏」の会場となっている能代市寿域長根のエイトさん前にあります。今回は、黒松会員でもある能代河川国道事務所の佐藤滋さんが黒松事務局の千葉さんと2人で担当。佐藤さんは先日の講習会で学んだ剪定のしかたを忠実に守り、マイ剪定ばさみで枝にはさみを入れていました。

会の活動は、国土交通省能代河川国道事務所が用具の貸出、安全指導、また能代市が剪定松葉の回収処分などサポートを行い、住民からなる会員の方々と協働で道路環境が良くなるように取り組んでいます。ご興味のある方はぜひ能代国道維持出張所(0185-58-2919)までご連絡お待ちしております。

文：宮腰 朝子



剪定講習会のもよう



剪定会は雨のため、脚立を使わず作業



佐藤さんと千葉さんと NW の松を剪定しました。(写真右上が剪定前、右下が剪定後)



一緒に剪定してみませんか？